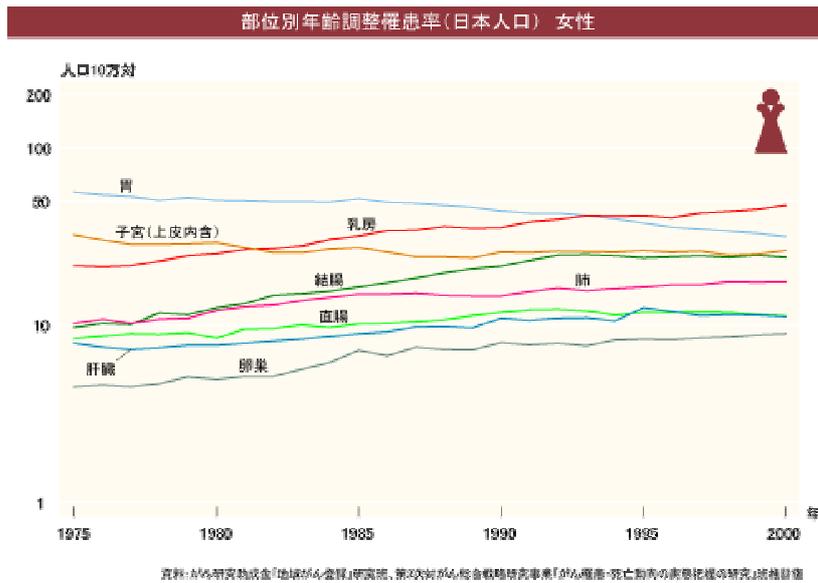
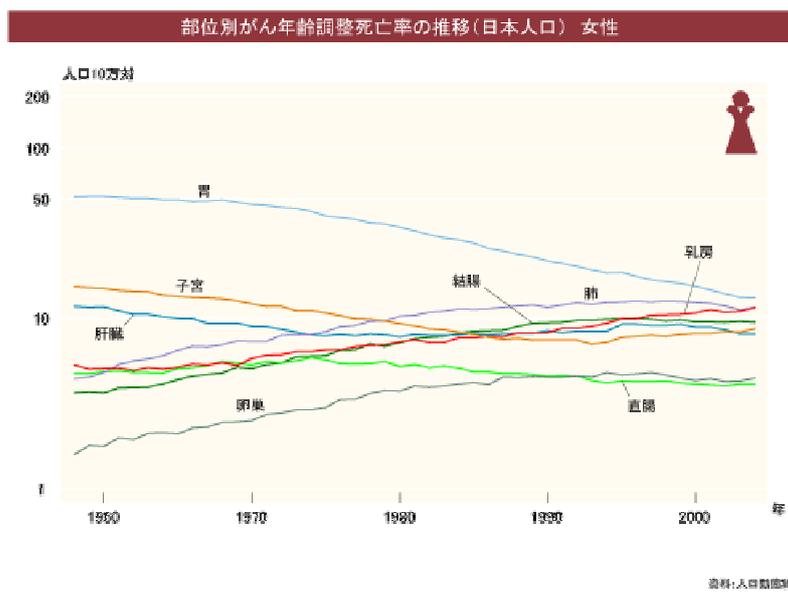


乳がんの発生率（罹患率）と死亡率

乳がんの年齢調整罹患数は(図1)人口10万人あたり48人程度で1990年代後半から女性の悪性新生物の第1位になっています。



死亡率(図2)に関してはまだ上昇傾向が継続しており、欧米で1990年代後半から減少傾向に転じていること対照的です。欧米ではスクリーニング(検診)が普及し非浸潤がんの割合が30%を超えていることが一因と思われます。



出典: 国立がんセンター がん情報サービス <http://ganjoho.ncc.go.jp/public/statistics/pub/nenji.html>